

大阪の主婦が初めて作ったこの映画は、昨年2月の完成以来、今も日本各地で上映されて感動の輪を広げ続けています。また、今年5月のロサンゼルスジャパン・フィルムフェスティバルで、名だたる作品と並び上映されました。私たちの上映会は秋田県では初めてとなります！

「ひとりひとりが違っていて、みんなが大切な存在ということを知り、世界中の人があたりまえに知っている世の中にして」というのが 映画の中の雪絵ちゃんの願い

**12月28日**は、その雪絵ちゃんのたんじょう日。

だから、ぐるふあばんしえは、この日を上映会♪と決めました。たくさんの人たちに、この映画を見て頂きたいと 只今 奮闘中♪

当日  
あしあけます  
あばんしえ  
マッパ



# ぜひ 映画 に あばんしえ!

雪絵

1969.12.28生まれ  
そして 多くの人に見送られて天に帰っていったのは ちょうど 大好きな雪の降る 2003年のたんじょう日の 日 でした。



映画の主人公、「かっちゃん」こと山元加津子さんは石川県の養護学校の先生。どんな事でも、どんな人でも分けることなく、ありのままに受け入れ、興味を持ち、共に楽しむ先生の、子供達との純粹で心温まる触れ合いを語るその講演は 目には見えない「大きな力」や「生かされている命」にまで触れ、聞く人の魂を大きく揺さぶる。ある日、障害を持った

雪絵ちゃんは、「一人一人が違っていいって言ったよね。それを世界中の人が当たり前知っている世の中にして!」と、願いをかっちゃんに託す。

人はなぜ完全ではないのか？  
宇宙はなぜ完全ではないのか？ 1/4の奇跡とは？  
かっちゃんの命の神秘を伝える旅が始まった……

